第2版 2025年2月13日

研究協力のお願い

この研究は、大阪医科薬科大学 研究倫理委員会にて審査され、各研究機関の長の許可を受けたうえで実施しております。ご理解・ご協力のほど、よろしくお願い致します。

大阪医科薬科大学 整形外科学教室 医療法人春秋会 城山病院

記

研究の名称	人工膝関節単顆置換術術後の下肢アライメントに影響を与える術前因子の検討					
対象	2020年7月17日から2023年3月3日までの期間に変形性膝関節症に対し人工 膝関節単顆置換術を施工された患者さんの身体所見の情報、および診療にて必要 であったX線検査の画像情報を研究に利用いたします。本学では、50例(共同 研究機関全体で100例)を予定しています。					
研究期間	研究実施許可日 (2024 年 3 月 14 日) ~ 2026 年 3 月 31 日					
試料・情報の利用目的及び利用方法	利用目的:変形性膝関節症に対する人工膝関節単顆置換術において術後の下肢アライメント(股関節から足関節まで含めた形状)が長期成績に影響を与えると言われていますが、それに影響を与える因子(年齢、術前の関節可動域などの背景や術前の変形の程度)は明らかになっていません。これらを明らかにするための研究になります。本研究の結果によって、適切な術式の選択がなされ、患者さんの術後満足度がさらに改善することが期待できます。 利用方法:患者さんの診療情報を抽出し解析を行います。抽出した診療情報は、加工して個人を特定できないように対処したうえで取り扱います。研究結果は学会や学術誌で発表される予定です。 各共同研究機関から主管機関である大阪医科薬科大学には、研究で利用する情報					

	から個人を特定できる情報を削除した状態で提供されます。				
	利用又は提供の開始予定日:研究実施許可日(2024年3月14日)				
利用し、又は提供す	情報:画像検査データ、診療記録等				
る試料・情報の項目					
	本学は、臨床研究を含む自らの研究成果について積極的に地域社会へ還元するこ				
	とで、社会から求められる研究拠点を目指しております。一方で、研究に関連し				
	て研究者が企業から経済的利益を得ている場合には、研究の成果が歪められる、				
	または歪められているとの疑念を抱かれる可能性が出てきます。このような利益				
利益相反について	相反の状態を適切に管理し、研究の透明性、信頼性および専門性を確保している				
	ことを社会に適切に説明するため、この研究は、本学の利益相反マネジメント規				
	程に則して、実施されております。				
	当該マネジメントの結果、本研究に関して開示する事実がない旨をお伝えしま				
	す。				

研究者名

【研究責任(代表)者】

大阪医科薬科大学 整形外科学 教授 大槻 周平

【共同研究機関・研究責任者】

医療法人春秋会 城山病院 整形外科 部長 村上 友彦

参加拒否の申し出について

ご自身の検査データや診療情報を研究に利用させて頂くことに対する問い合わせ、参加拒否を申し出たい場合は、下記の連絡先までお願いいたします(対象者の代理人からの申し出も受付いたします)。参加拒否の申し出をされた場合は、研究の対象から削除し、研究利用をいたしません。しかしながら、研究結果が出た後の参加拒否の申し出については、研究の対象から削除することができかねますので、予めご了承ください。

問い合わせ窓口

【主管研究機関】

〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号

大阪医科薬科大学 整形外科学教室

担当者 大槻 周平

連絡先 072-683-1221 (代) 内線 56357

共同研究機関

〒583-0872 大阪府羽曳野市はびきの2丁目8番1号

医療法人春秋会 城山病院 整形外科

担当者 村上 友彦

連絡先 072-958-1000

試料・情報の提供を行う機関

提供責任者:村上 友彦

研究機関及び研究機関の長: 石橋 孝嗣

研究参加拒否書

大阪医科薬科大学 学長 殿 大阪医科薬科大学病院 病院長 殿

大阪医科薬科大学 研究責任者 大槻 周平 殿 医療法人春秋会 城山病院 研究責任者 村上 友彦 殿

研究の名称

人工膝関節単顆置換術術後の下肢アライメントに影響を与える術前 因子の検討

私は、上記研究への参加について検討した結果、研究参加を拒否します。

牛	月	Ħ	对家石	1±PT
				氏名(自署)
		※ご本	人が自署でき	ない場合は、代諾者の方がご記入ください。
				代諾者(続柄:
				住所
				氏名 (白罢)